

さわやかハイク山行報告書

通算山行NO	NO. 70	報告者	佐々木和雄
年月日	2009年10月4日(日=山行2日目)	2万5千	大町・黒部湖
山名	後立山・鹿島槍ヶ岳(2889m)～爺ヶ岳(2670m)		
体力度=4・ややきつい 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ある トイレ=ある 展望度=素晴らしい 三角点名=鹿島入 等級=二等			
<h2>秋晴れの鹿島槍ヶ岳に乾杯</h2>			
コース とタイム	4日=起床4:00、冷池山荘出発4:50、鹿島槍ヶ岳南峰6:32、 鹿島槍ヶ岳北峰7:12～25、南峰7:57～8:10、冷池山荘 9:18～:45、爺ヶ岳南峰10:53～11:22、種池山荘 11:47～:54、柏原新道一扇沢爺ヶ岳登山口13:44～53、 大町温泉郷～15:55一農協20:15一下土狩20:25		
標高差	上り 冷池山荘約2420m～鹿島槍ヶ岳2889m=約470m 下り 鹿島槍ヶ岳2890m～冷池山荘約2387m=約502m 爺ヶ岳2670m～扇沢約1350m=約1320m		
参加者	3日と同じ		

4:00起床。山荘の窓からは満天の星空だ、ありがたい。山の女神様に感謝、感謝。天気予報通り、今日一日だけは全国的に秋晴れらしい。久しぶりに素晴らしい景観と山歩きができると思うと、朝から嬉しくなる。

原田さんからチラシ寿司弁当が配られ、部屋の廊下で一人のんびり食べていたら、すでに部屋は空っぽ。慌ててザック片手に小屋の玄関に移動した。皆と歩調をあわせ、荷物の一部を小屋に預け、靴を履き、出発の準備を行った。



爺が岳への登山道からの景観

4:50、予定よりは10分早く、冷池山荘を出発。まだ夜明け前、外は真っ暗である。ヘッドランプなしでは到底歩けない。増田（真）さんのヘッドランプが電池切れで、彼女一人では前進不能と分かった。

そこで、村上さんを先頭に増田さん、私の3人が隊の最後尾で三人二脚のタッグを組んで小屋を後にした。我等3人はかなりゆっくりしたペースとならざるを得ず隊のスピードに追いつかず、隊から遅れる羽目となった。



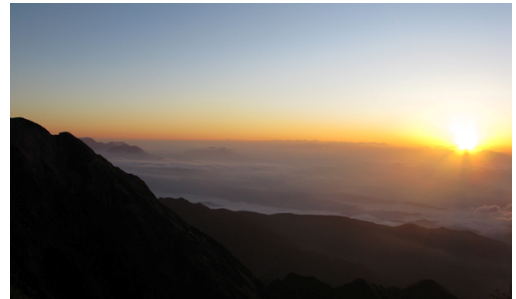
山荘の玄関の時計 4:52

小屋付近の森林帯から尾根に出ると、西風がやけに強く寒い。たまに、先頭の隊列のヘッドランプの灯りが遠くに見え隠れする。大分距離が空いてしまったようだ。

30分くらい経過すると、周囲が徐々に明るくなり、ヘッドランプなしでも歩けるようになってきた。

5:50、布引山（2683m）に到着、東の空が紅く染まり、雲海から真っ赤な太陽が昇ってきた。シャッターチャンスとばかり写真を撮りまくった。

布引山を通過する頃には、空もすっかり明るくなり、西側には剣・立山連峰が朝日に染まり、荒々しいその山肌と雄大な姿が現し始めてきた。朝日で剣・立山連峰の山肌に鹿島槍ヶ岳連峰のシルエットが映り、感動した。これも当然の現象だが、こんなスケールのデカイ山の影の投影現象にお目にかかれてラッキーであった。



雲海からのご来光（5:50）

登ってきた方向（南側）を振り返ると、今日午後のコースである爺が岳（北峰、中峰、南峰）と蓮華岳、針ノ木岳、遠くには槍・穂高連峰が展望できる。素晴らしい景観だ、何度も何度も立ち止まっては写真を撮りその度に、最後部の増田さん村上さんからの遅れを詰める急ぎ足、嗚呼～疲れる～。

布引山から鹿島槍ヶ岳（南峰）までは40分ほど、最後部は股関節の調子が悪くなった近森さん、鈴木（emiemi）さん、そしてどん尻で遅れた人の面倒を見ている村上さんと続く。

6:32、鹿島槍ヶ岳（南峰 2889m）に全員無事登頂成功。

頂上で5分ほど360度の大パノラマを堪能した。頂上で初めて北側の五竜岳、唐松岳、今年夏登った白馬岳などの展望が可能となり、正に360度の素晴らしい北アルプス全山のパノラマを楽しむことができた。

西側の剣岳、三ノ窓雪渓、小窓雪渓が白く見え、剣岳の左側肩部がカニのタテバイ・ヨコバイか～。

荒々しいゴツゴツした八ッ峰、小窓尾根など、はっきり見える。来年トライを予定している早月尾根は丁度剣岳の裏側なんだ、なんて下山して



布引山から見る朝焼けの鹿島槍ヶ岳 南峰北峰 5:52

から剣の写真と地図を照らし合わせて確認し、一人納得した。

6:38、鹿島槍ヶ岳南峰を出発（北峰へ）。後藤講師を先頭に急で険しい岩稜を、吊り尾根の鞍部まで落石に注意しながら慎重に降りる。

鞍部から北峰までは10分ぐらい。股関節を痛めた近森さん、村上夫妻、鈴木さん、そして写真撮影に忙しい私が最後部となった。先頭部隊からはかなり遅れて北峰に向かう。



鹿島槍ヶ岳 南峰頂上（2889m）で集合写真

7:17、鹿島槍ヶ岳 北峰（2842m）到着

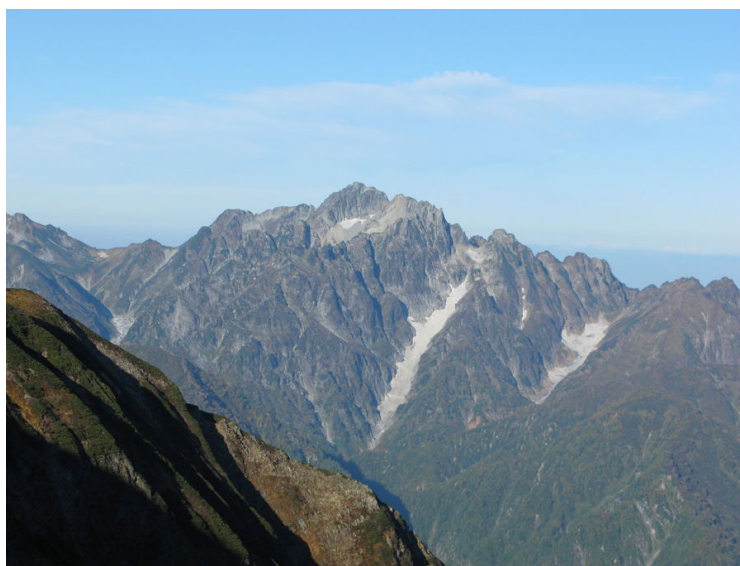


鹿島槍ヶ岳南峰を出発（北峰へ）6:38

7:27、鹿島槍ヶ岳 北峰（南峰へ）出発
北峰からの360度の大パノラマを満喫し、再び吊り尾根経由で南峰へ戻る。

南峰と北峰の往復ともに地図のコースタイム25分より遅れた。原因は、体調の悪い人もいたこと、危険な場所で慎重に歩いたことだと思う。

最後部の隊は往復ともに約40分位かかった。



鹿島槍ヶ岳北峰から見る剣岳



鹿島槍ヶ岳（南峰）から南側の景観

8：05、鹿島槍ヶ岳 南峰（2889m）に帰還

再び南峰へ戻ってきた。秋晴れの元、全員での集合写真の撮影をこの時行った。今回の素晴らしい山行の一番の写真となること間違いなし。ハイ・ポーズ。ここからは、冷池山荘、爺が岳、種池山荘、柏原新道経由で扇沢ロッジまで約6時間、時間・距離はまだまだ長いが全く苦にならないのは、秋晴れ元、こんなに素晴らしい北アルプスの景観を楽しみながら山歩きができるからでしょう。こんな贅沢な体験は登山をしなければ、絶対味わえないことと思う。山の仲間、自分の体力、そして山の女神に感謝・感謝です。

8：10、鹿島槍ヶ岳 南峰 出発（冷池山荘へ）

さあ～、下山コースの開始です。途中爺が岳の登りが少しあるが、これまた楽し。途中で雷鳥を2羽見ることができた。また朝登って来た時とは全く様相が異となる鹿島槍ヶ岳 南峰北峰の素晴らしい双耳峰の山姿を真っ青な秋空を背景に見ることができた。何度も何度も振り返っては見入ってしまいました。ヤッホー

9：20、冷池山荘へ帰還

ここで 小休憩、小屋に預けていた荷物を回収し軽く食事をとった。バナナが実に美味しい。行動食にまた持参しよう。

9：44、冷池山荘出発

10分ほどで赤岩尾根を通過、ここから爺ヶ岳への登りの始まりです。後藤講師が、ここは登りやすいね、なんて周囲の人に話しかけていました。なるほど、登山道にはゴロゴロした石も少なく実に歩きやすい。朝登った鹿島槍ヶ岳 南峰北峰の景観が素晴らしく、何度も振り返っては見入ってしまう。冷池山荘の赤い屋根が小さく緑の樹海の中に小さく見える。

10:52、爺ヶ岳（南峰）到着

剣・立山連峰、槍ヶ岳がはっきりと見える。注意深く見ると富士山も見ることができ嬉しくなった。赤い屋根の種池ヒュッテまではあと25分ぐらいで到着。そこからはこの素晴らしい景観お別れと思うと非常に残念だ。



爺ヶ岳（南峰）山頂でポーズをとる さわやかな美女たち

11:47、種池ヒュッテ 到着

11:52、種池ヒュッテ 出発

13:49、扇沢 到着

無事、全員今回の山行の最終地点、扇沢に到着した。



皆さん、2日間お疲れ様でした

2泊3日のコースを1泊2日で走破は立派です。今回の山行、天候の不順で出発間際まで実施が危ぶれましたが、奇跡的な天候の変化後藤講師の確かな判断と全員の強い願いが山の女神を微笑ませたようです。

おかげで、記憶に強く残る素晴らしい山行となりました。

おわり